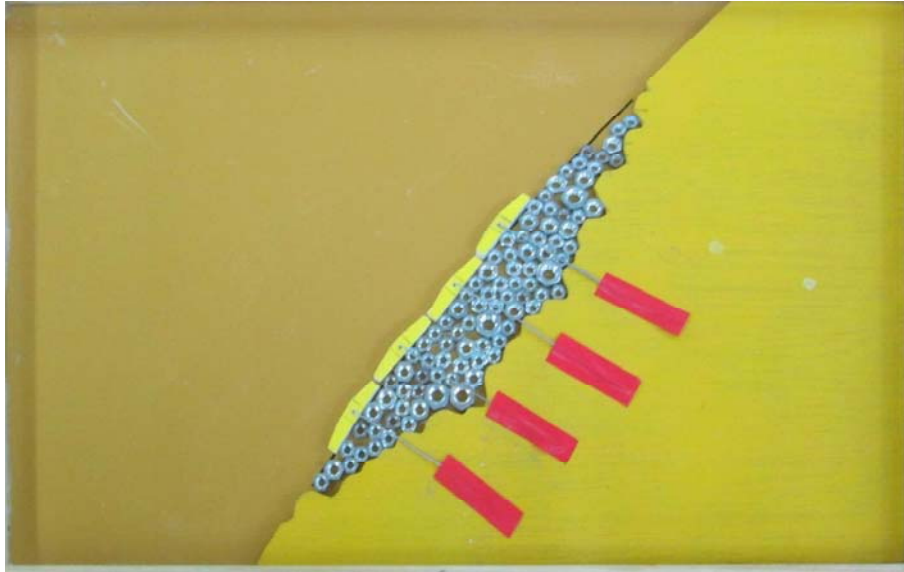


3-1(1)

がけ崩れ模型の作り方



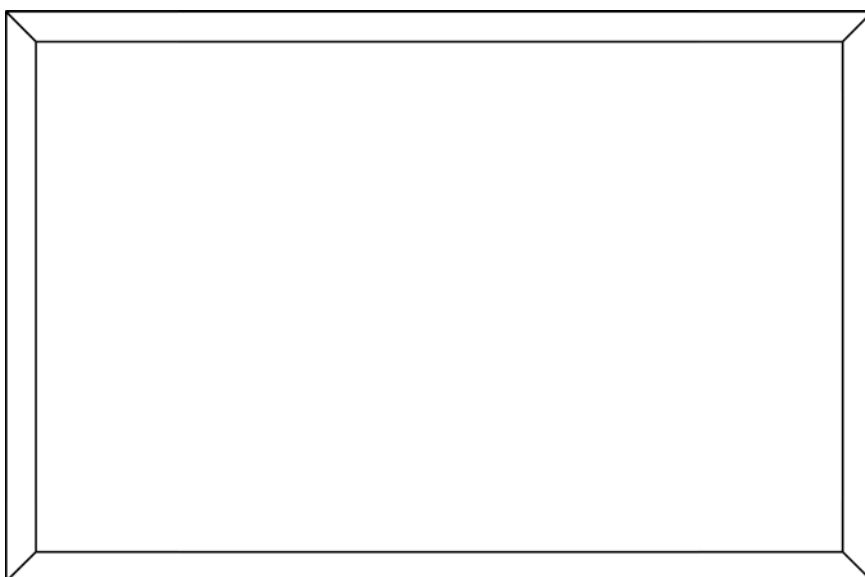
1. 用意するもの



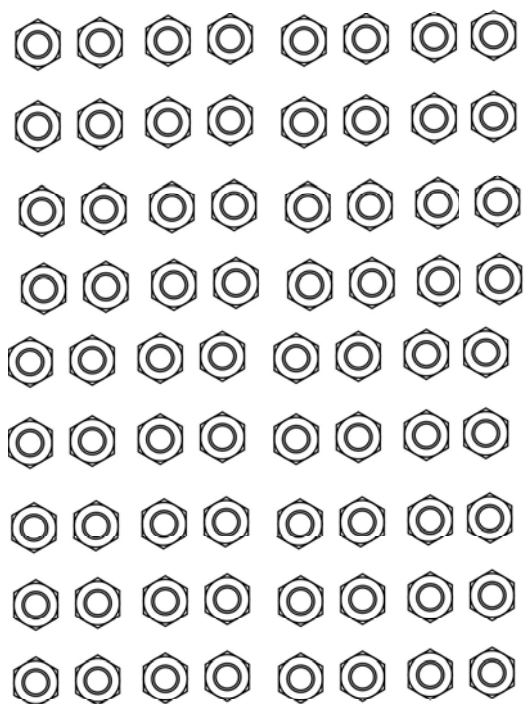
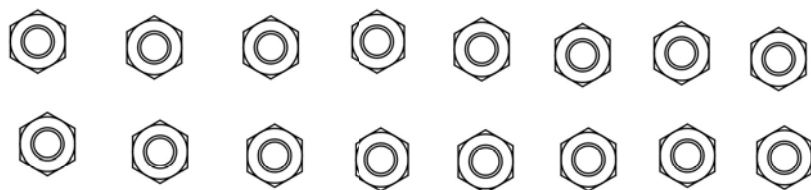
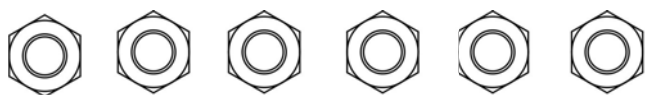
コンパネ
大きさ
35.2x53.0x1.2cm



はっほう
発泡材カラーボード
34x31x0.5cm



木わく
1.8x1.8x176 の角材を切
って作成



ナット
M8 x 6
M6 x 16
M5 x 72

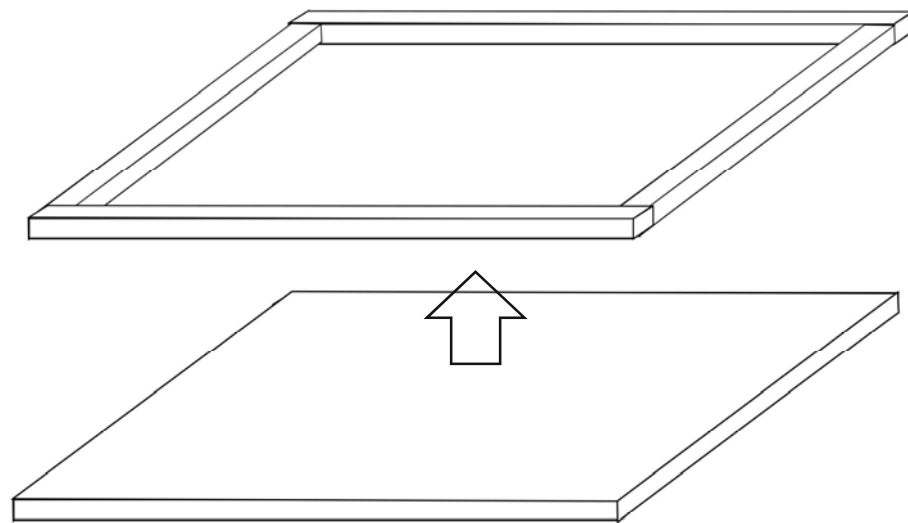
その他

キッチンマット（発泡カラーボードよりもやわらかい材質）→ のり^{わくこう}枠工として使用

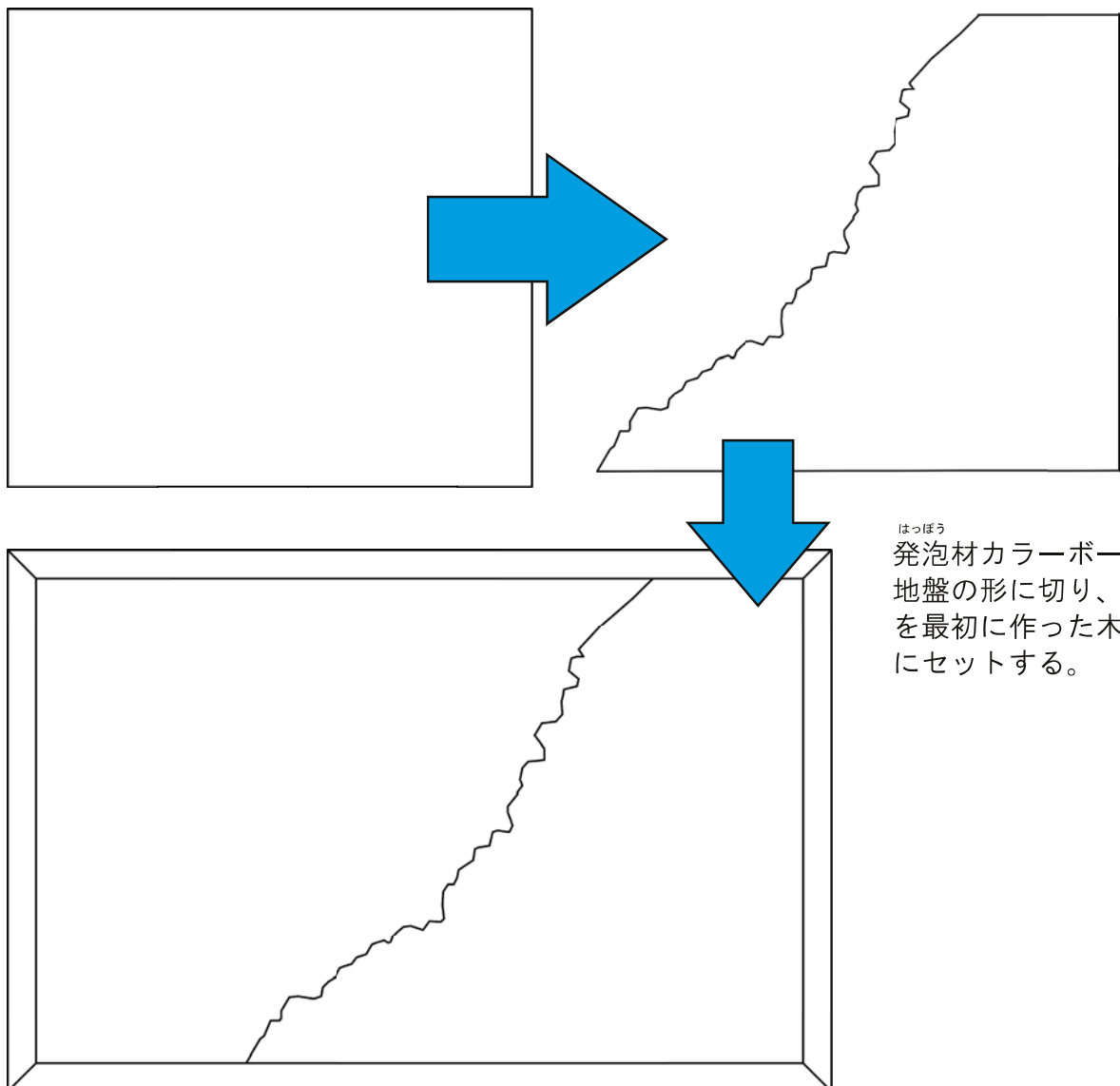
マグネットシート 28.0x0.5x0.1cm

紙、粘着テープ^{ねんちやく}など

2. 作り方

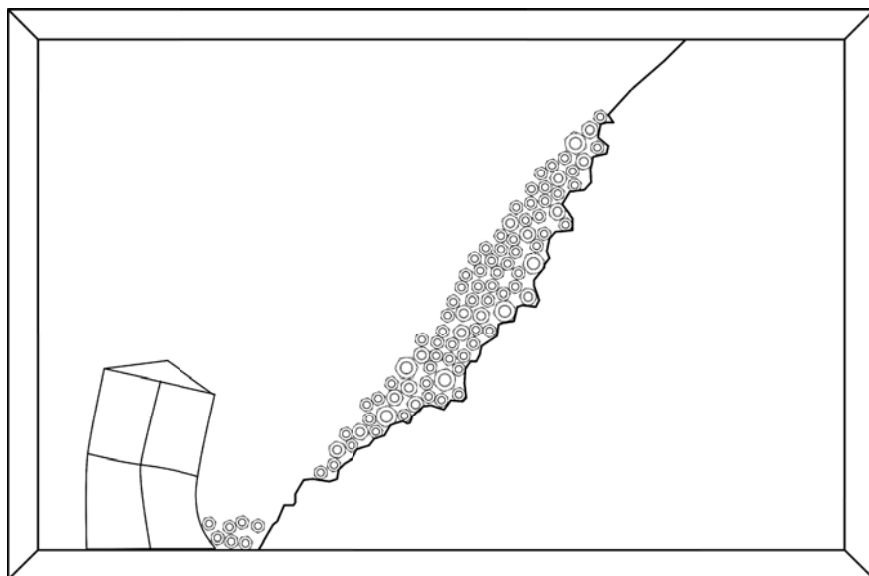


木わくを組み、裏からコンパネを貼る



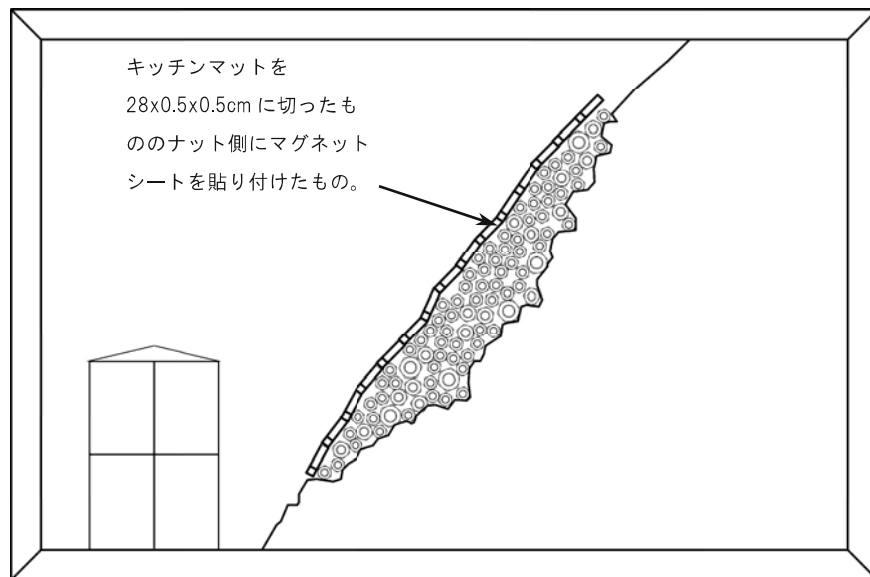
はっばう
発泡材カラーボードを
地盤の形に切り、それ
を最初に作った木わく
にセットする。

自然地盤

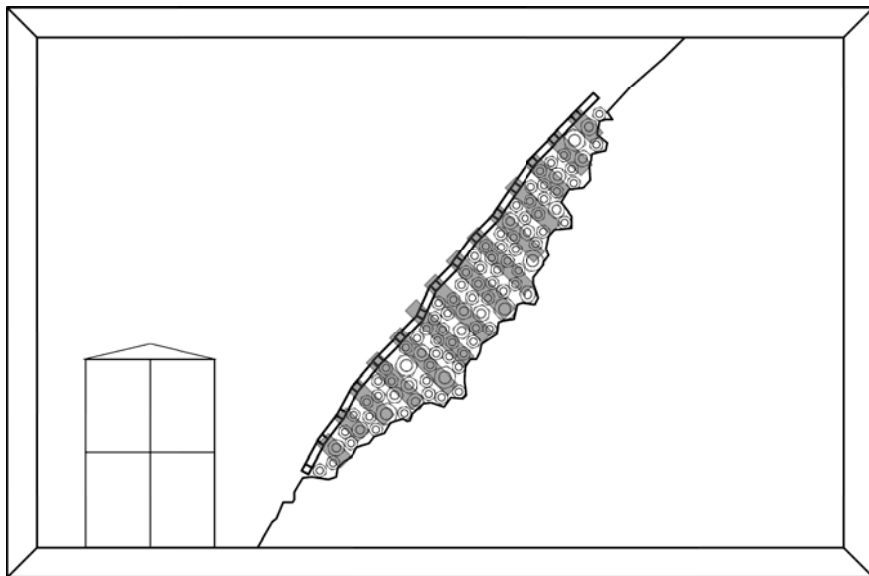


はっぽう へこ
発泡材カラーボードの凹
みにナットをランダムに
つめる。
木わく全体を起こすと、
じゅうりょく
重力がはたらき崩れる。
家は紙を切って作成す
る。

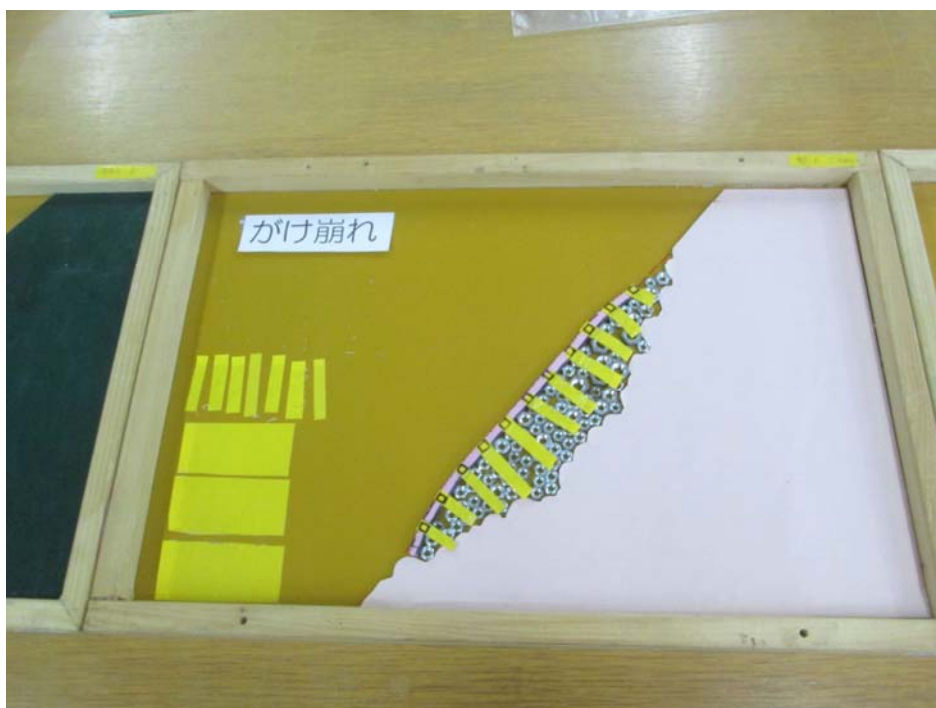
のり枠工



のり枠＋鉄の棒工



のり枠模型に、補強鉄筋に見立てた粘着テープを貼ったもの。
ほきょうてつきん ねんちやく



アンカー工

